玖波中だより

No.19

大竹市立玖波中学校　令和６年２月２日

学校教育目標「自他を大切にし，主体的に考え行動できる生徒の育成」

発行責任者　小田　大介　　文責　藤川　健二

自己表現(面接)練習

今年度初めての取組として，検査官を外部から招き実施しました。今年度は，株式会社ダイセル大竹工場様に協力していただき，７月，11月，12月の３回実施しました。

外部に協力を依頼した理由は，普段接することのない人に検査官役をしてもらうことで，生徒が本番を想定でき，緊張感をもって臨めることが大きな理由でした。このことについては，生徒のモチベーションもあがり１回目は，たどたどしい様子でしたが，３回目は原稿に頼ることなく自分の言葉で語っており，大きな成果だったと思います。

また，我々職員も学校関係者以外の方とお話することで「粘り強く頑張れる人」「協調性のある人」「コミュニケーション能力に優れている人」「創造力の豊かな人」等，社会が求める人材とその理由について改めて学ぶ良い機会となりました。更に，学校という小さな社会の中に新しい風を入れることの大切さを感じました。

株式会社ダイセル大竹工場様に深く感謝申し上げます。

１回目は緊張で上手く話すことができず詰まってしまいました。それでもダイセルの皆様が良かったところや改善点を具体的に教えてくれたおかげで「もっと頑張ろう」と思うことができました。3回目でも緊張はしたけど内容もしっかり覚え，堂々と話すことができました。3回の練習は充実したものとなり，本番のような緊張感のある雰囲気を味わうことができ，とてもよかったです。本番でも緊張すると思うけど練習の成果が出せるよう頑張ります。

１回目は不安もあり原稿を見ながらで，あまり上手くできませんでした。しかしダイセルの方から，とても参考になるアドバイスをいただき，学校で練習しました。最初は，あまり上手くいきませんでしたが，次第に良くなり自分に自信がつきました。2回目ではアドバイスをもらったことを参考に更に良くなってきました。学校での先生との練習も上手くできるようになりました。最後の3回目では，緊張はしましたが，それでも今までの中で１番自信をもって臨むことができました。3回の自己表現の練習のお陰で自分に自信を持つことができました。3回目のアドバイスを受けて，更にいいものに仕上げようと思います。

修学旅行無事に終わる　～体験・経験を普段の生活に生かす～

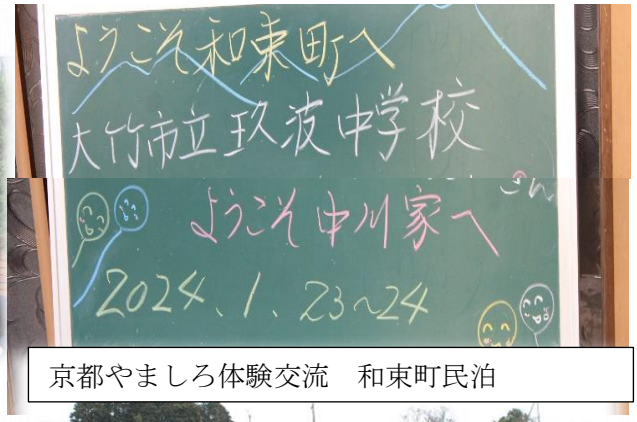
２年生にとっては今年度の最大の行事とも言える修学旅行に１月 23 日(火)～25 日(木)の二泊三日で関西方面に行ってきました。

初日は民泊体験，２日目は京都市内班別自主研修，３日目はＵＳＪでの自由行動でした。学年目標や各係のテーマを意識し，行動できた３日間だったのではないでしょうか。

旅行団が帰校後，解団式を終え，団長である校長が職員室に戻って，開口一番言った『ああ寒かった～。でも楽しかった～。玖波中の生徒は，すごいけえ』の言葉から１００点満点の修学旅行だったということを感じました。

今回の修学旅行でお世話になった，『京都やましろ体験交流協議会』をはじめとする関係者の皆様に深くお礼申し上げます。

1/23(火):神戸中華街



京都やましろ体験交流　和束町民泊

1/25(木):USJ

今回の修学旅行で大切なことを学びました。一つは「人の優しさ」です。初日は和束町で民泊をしました。最初は初めての景色や会ったことがない人と生活することは緊張していました。しかし，話をしたり料理を手伝ったり，ゲームをしていくうちに緊張もほぐれ楽しくなりました。分からないことを丁寧に教えてくれたりと，民泊先の人の優しさを感じることができました。

今回の修学旅行で友達の普段見ることができない友達の良さを見ることができました。同じ空間で生活することで，仲が深まるのは本当だと思いました。今回学んだことを普段の学校生活に生かしたいと思います。

初めての民泊でとても緊張したけど，民泊先の方がとても優しく接してくださり，すぐに馴染めました。また，和束町について詳しく説明してくださり，知識が深まりました。他にも茶畑を見に行ったり，料理をしたり，自分たちが作ったトランプで遊んだりなど，たくさん普段は出来ないことを体験しとても楽しい民泊となりました。

京都の班別自主研修では，清水寺や金閣寺，二年坂など京都の文化に触れることができ，本当に良かったです。